

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

('10GG1-800(TCF9311L)・GG2-800(TCF9321L)・GG3-800(TCF9331L)  
'12GG1-800(TCF9312L)・GG2-800(TCF9322L)・GG3-800(TCF9332L)用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)\*をご確認ください。

\*10GG-800 (TCF9311L・9321L・9331L) は、補修部品の供給期間が終了したため、ラベルの発注はできません

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ 特 1 イ プ 1)	(タ 特 2 イ プ 2)	正 規 品	(タ 特 1 イ プ 1)	(タ 特 2 イ プ 2)
(タ 特 3 イ プ 3)	(タ 特 4 イ プ 4)	(タ 特 5 イ プ 5)	(タ 特 3 イ プ 3)	(タ 特 4 イ プ 4)	(タ 特 5 イ プ 5)

### 3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

#### <<本体側の設定方法>>

手順 リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1 本体操作部の を10秒以上押し続ける  
 ⇒10秒後に全てのランプが**5秒間**点灯します。

≪下図は例です≫

■ 運転	■ 便座	■ 運転	■ 便座	■ 運転	■ 便座
■ 温水	■ 節電	■ 温水	■ 節電	□ 温水	■ 節電

緑色点灯  
この間**5秒**

運転・節電  
→ 橙色点灯  
便座・温水  
→ 緑色点灯

ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください。

2 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)しているうちに、  
 すぐに を5秒以上押す。  
 5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

3 ※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

を押したまま、 を押す。  
 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準  
 と設定が切り替わります。

設定コード	本体表示部									
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×
便座	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×
温水	●	●	×	×	●	●	×	×	×	●
節電	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●

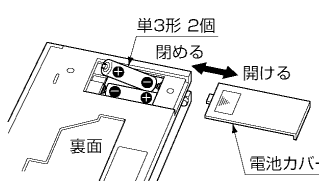

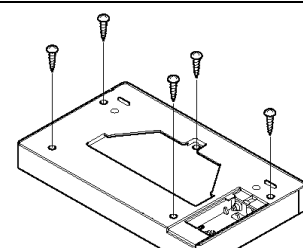
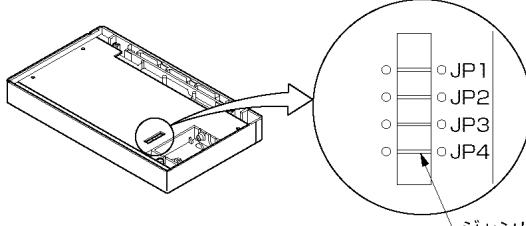
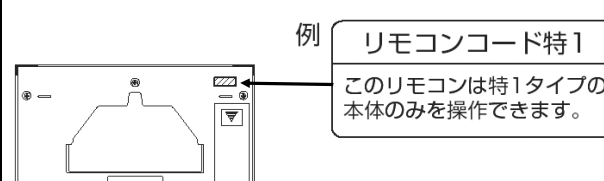
4 ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

から手を離れた時点で設定したコードになる。

5 ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

＜＜リモコン側の設定方法＞＞

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>乾電池のはずしかた</b></p>  <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p><b>リモコンの完全放電</b></p>  <p>水勢ランプがつかなくなるまで、「おしり洗浄」スイッチを何度か押す。</p> <p>③「おしり洗浄」スイッチを押して、水勢ランプが消えていることを確認する。 (水勢ランプが確実に消えるまで「おしり洗浄」スイッチを押し続けずに作業を進めると、特殊コードが切り替わりません)</p> </div>																																																							
2	 <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div>  <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="191 1299 909 1489"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れて、リモコンはリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	 <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)